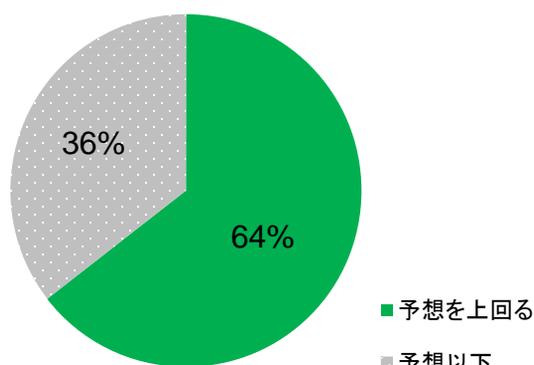


## 米国銀行の2019年第1四半期の決算概況 ～相対的に良好な決算～

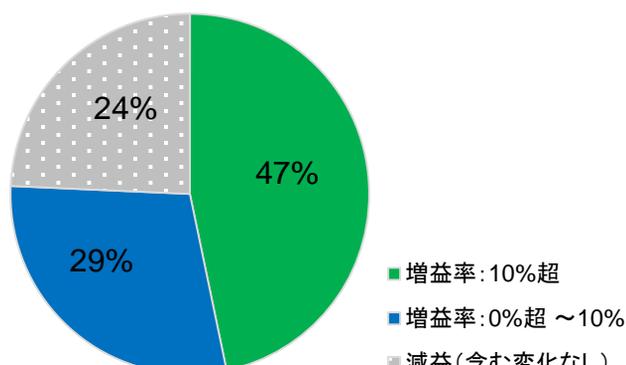
米国銀行の2019年第1四半期決算が大方出揃いました。米国銀行株式指数を構成する銘柄のうち6割超の銀行において予想を上回る決算となっています。前年同期比で約8割の銀行が増益を実現しました。また、利ざやについては約6割の銀行において拡大し、貸出残高については、9割超の銀行において増加となりました。

### 2019年第1四半期決算概況（2019年5月現在）

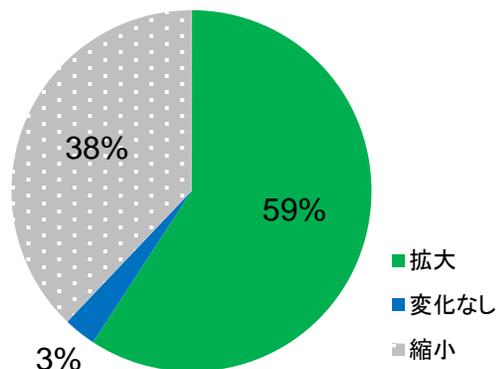
EPS(1株当たり純利益)の市場予想との比較



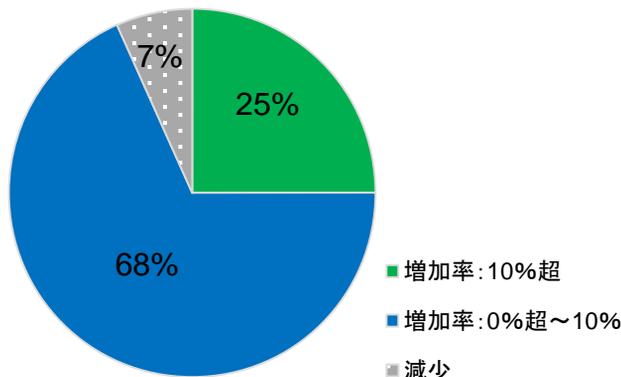
EPS(1株当たり純利益)増減率別の銀行数割合(前年同期比)



利ざやの拡大・縮小別の銀行数割合(前年同期比)



貸出残高の増減率別の銀行数割合(前年同期比)



\* 四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

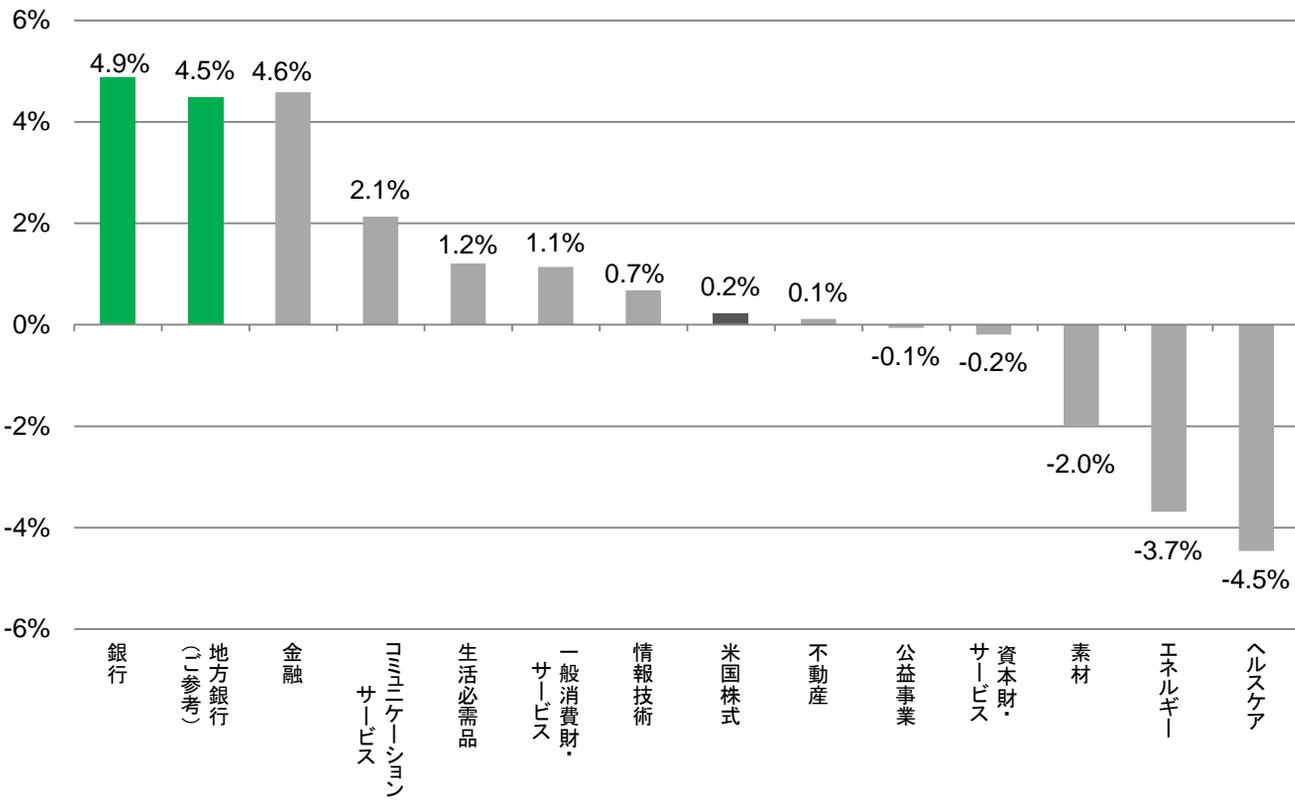
米国銀行株式指数: S&P総合1500銀行株指数

※上記決算概況は2019年5月13日現在の米国銀行株式指数の構成銘柄のうち、決算情報が入手できたものを集計しています。

出所: ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社が作成

2019年第1四半期の相対的に良好な決算発表を受けて、米国銀行株式は4月以降、上昇しています。足元では米中貿易摩擦の悪化懸念が高まっていますが、米国銀行のファンダメンタルズは引き続き良好で、「貸出残高の伸びを中心とした収益増加」や「コスト削減効果」などを背景に、2019年も米国銀行の堅調な業績が予想されることに加え、今後も活発なM&A(買収・合併)による事業拡大・効率化が、米国銀行の利益増加につながると期待されます。さらに、足元のバリュエーションは割安な水準にあると見られることから、引き続き、米国銀行にとっては魅力的な投資機会が存在していると考えます。

米国株式：業種別騰落率(配当込み、米ドルベース)  
(2019年3月末～5月14日)



※米国株式：S&P500種指数、米国株式各業種：S&P500業種別指数、銀行：S&P500銀行株指数、地方銀行：S&P総合1500地方銀行株指数

出所：ブルームバーグのデータをもとにマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社が作成

【ご留意いただきたい事項】

- 当資料は、情報提供を目的としてマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。)が作成した参考資料であり、特定の有価証券等の取得勧誘や売買推奨を行うものではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報に基づいておりましたが、当社がその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の記載内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更される場合があります。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料の一部または全部について当社の事前許可なく転用・複製その他一切の行為を行うことを禁止させていただきます。
- 当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。
- 当資料に記載された見解・見通し・運用方針は作成時点における当社の見解等であり、将来の経済・市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第433号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会